

前に進める

犬山だより

犬山市長

原よしのぶ

1号



この3月号より「前に進める犬山だより」をはじめます。少しでも分かりやすく、近い存在に感じていただけるよう掲載しますので、お付き合いよろしく申し上げます。

【「前に進める」に込めた三つのおもい】

- ①今ある犬山をさらに成長させて「前に進める」との想い
- ②みなさんと一緒に「前に進める」との想い
- ③「前に進める」プロセスをみなさんと共有したいとの想い
そんな想いを持って、心を込めてお伝えします。

【市長としての役割】

NHK大河ドラマ「どうする家康」が始まりました。家康は戦国の戦いの中で「どうする？」との選択を何度も迫られながら、天下人まで登りつめていきます。

これからさまざまな「どうする犬山?」「どうする市長?」の場面向き合うこととなります。その時には、慣例や前例にとらわれず、何事にも真面目に正直に丁寧に向き合って、知恵と工夫、スピード感を持って、適正な判断と実行で、夢と希望の持てる市政運営ができるよう全力を尽くします。

【市役所はどんな場所?】

市役所の仕事は、福祉や健康のこと。農業や商工業、観光に関すること。みなさんが使う道路や河川の建設や管理、保育園や幼稚園、小中学校など子どもに関することです。つまり、市民みなさんの生活を守る大切な仕事です。

では、みなさんは、どうして市役所におみえになるのか?

生活の困りごとなどの問題解決のためです。市役所に頼りたいからです。みなさんの思いや心を受け止めてくれる行政の専門職集団の職員がいるからです。

だから、より一層、頼れる場所と感じていただける犬山市役所を職員とつくっていきます。

【政治や市役所は遠い存在?】

「政治に関心がない…市役所に関わり合いがない…」とお聞きします。私は政治は特別なものでは

ないと思っています。なぜなら、市役所がみなさんの生活を守る仕事であるならば、政治はみなさんの普段の生活であり、みなさんの存在そのものだからです。

税金を納める。病院に通う。お家を建てる。教育を受ける。スポーツをする。お酒を飲む。この一つ一つも、その全体も、政治であり市役所も関わっています。また、みなさんが思いや考えをアプローチできるのも政治であり犬山行政です。ぜひ、これからの犬山づくりにご一緒ください。

【前に進める】

過去と他のまちは変えることはできません。でも、未来と私たちのまち犬山は変えることができます。これからの新しい犬山づくりに挑んでまいります。

ずっと申し上げてきた「私の夢は市長になることではありません。市長になってみなさんと犬山をよくすることが私の夢です。」を忘れることなく、みなさんが真ん中にいる「やさしく」「げんきな」犬山で、ずっとずっと犬山に住みたいと思ってもらえるまちの創出のため前に進めていきます。

この「前に進める 犬山だより」で、私の犬山への思いや考えを具体的にお示ししていきます。